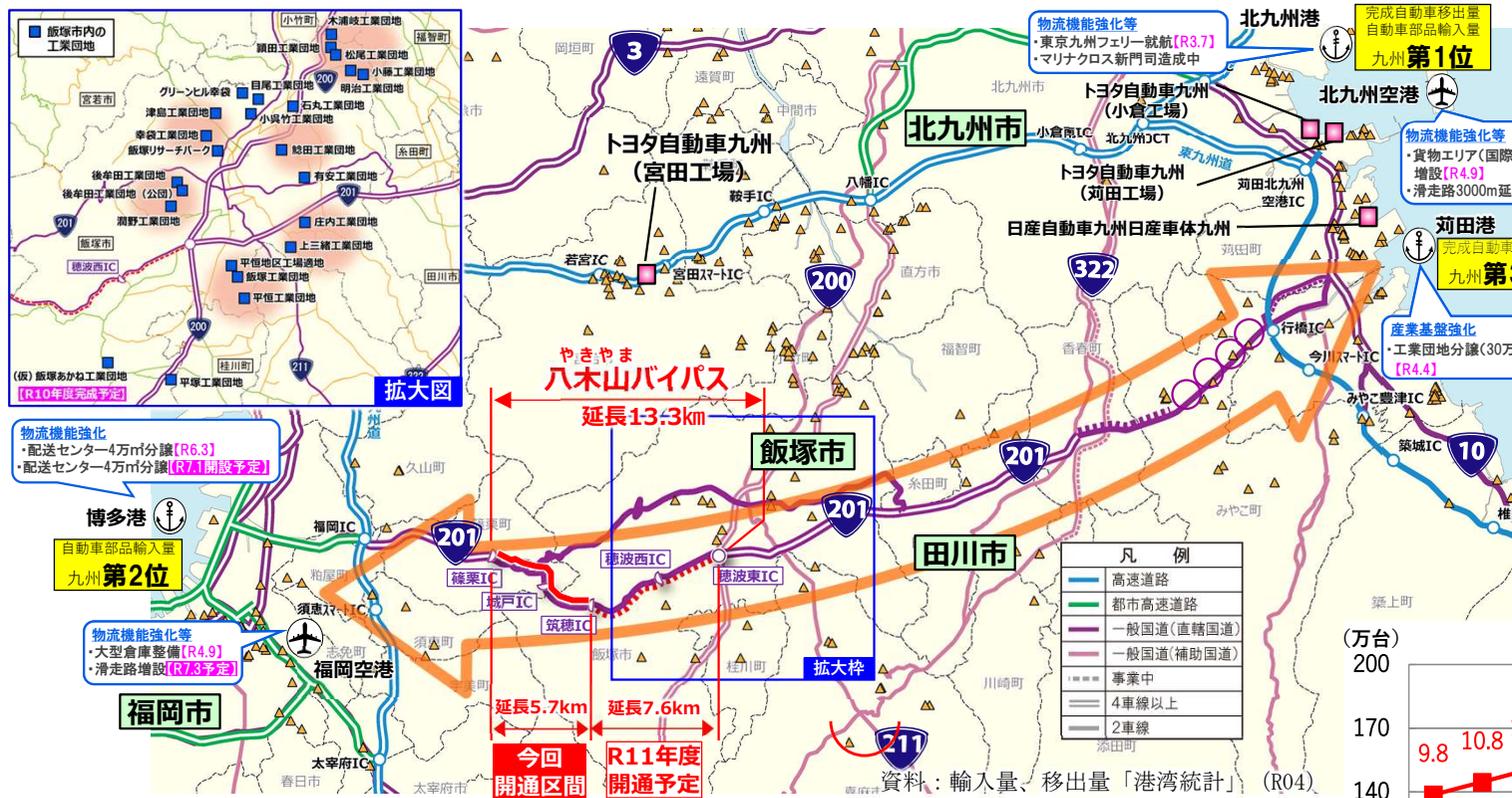


# 【八木山バイパス】 今回の4車線開通により期待される効果③

## 定時性・速達性の高い物流ルート形成による、地域産業の支援

- 八木山バイパスを含む国道201号は、沿線に自動車関連企業が立地し、北部九州における自動車産業のサプライチェーン（部品調達、製造、販売など）等を支える重要な物流道路です。
- 近年では、北九州空港の滑走路延伸等をはじめとした空港・港湾機能の拡充や物流施設の整備が進んでおり、更に国道201号の重要性が増しています。
- 今回、篠栗ICから筑穂IC間（延長5.7km）が4車線で開通することにより、2車線区間の交通ボトルネックが一部解消し、定時性・速達性が向上することにより、地域産業を支援します。



○現在23の工業団地はすべて完売。このような状況でも25件/年の問い合わせを受けている。この為、新たな工業団地の造成にも着手。**【拡大図】**

○福岡市と北九州市の間に位置するという立地の良さでアピールしているため、福岡方面のアクセスが良くなる八木山バイパスの4車線化には期待している。

資料：飯塚市ヒアリング (R6.7)

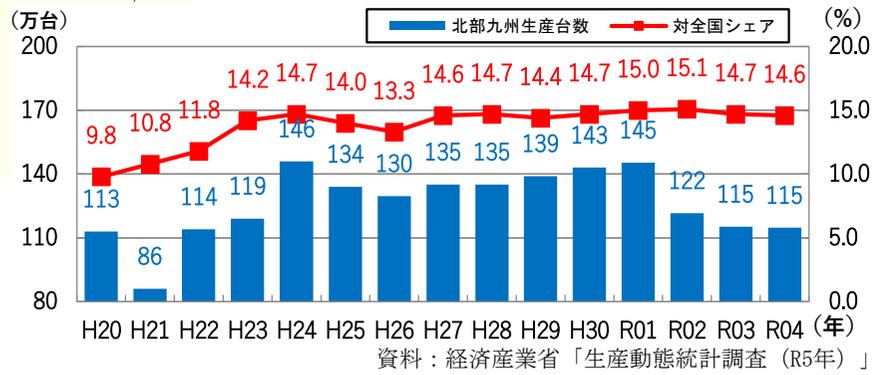


○八木山バイパスは輸送時間が読めないため、渋滞や通行止めの際は八木山峠を迂回する。

○過去にトラック3台が通行止めに巻き込まれ、輸送が遅延しクレームにつながったことがある。

○4車線化されると、時間が読めるようになるため、期待している。

資料：物流業者ヒアリング (R5.9)



▲北部九州における自動車生産台数及び対全国シェアの推移